

【図解でわかる「自己添削を通したトレーニング】

「自己添削を通したトレーニング」について図解で説明したものを次頁に示します。「自己添削を通したトレーニング」とは、日々のオンザジョブトレーニングでの4つのトレーニングの中の一つです。具体的には、技術文書を書いたら「その内容が明確に伝わるかどうか」を自分でチェックすること（添削すること）です。

自己添削をするときには以下に示した2つの条件を満たすことが必要です^{注1)・注2)}。

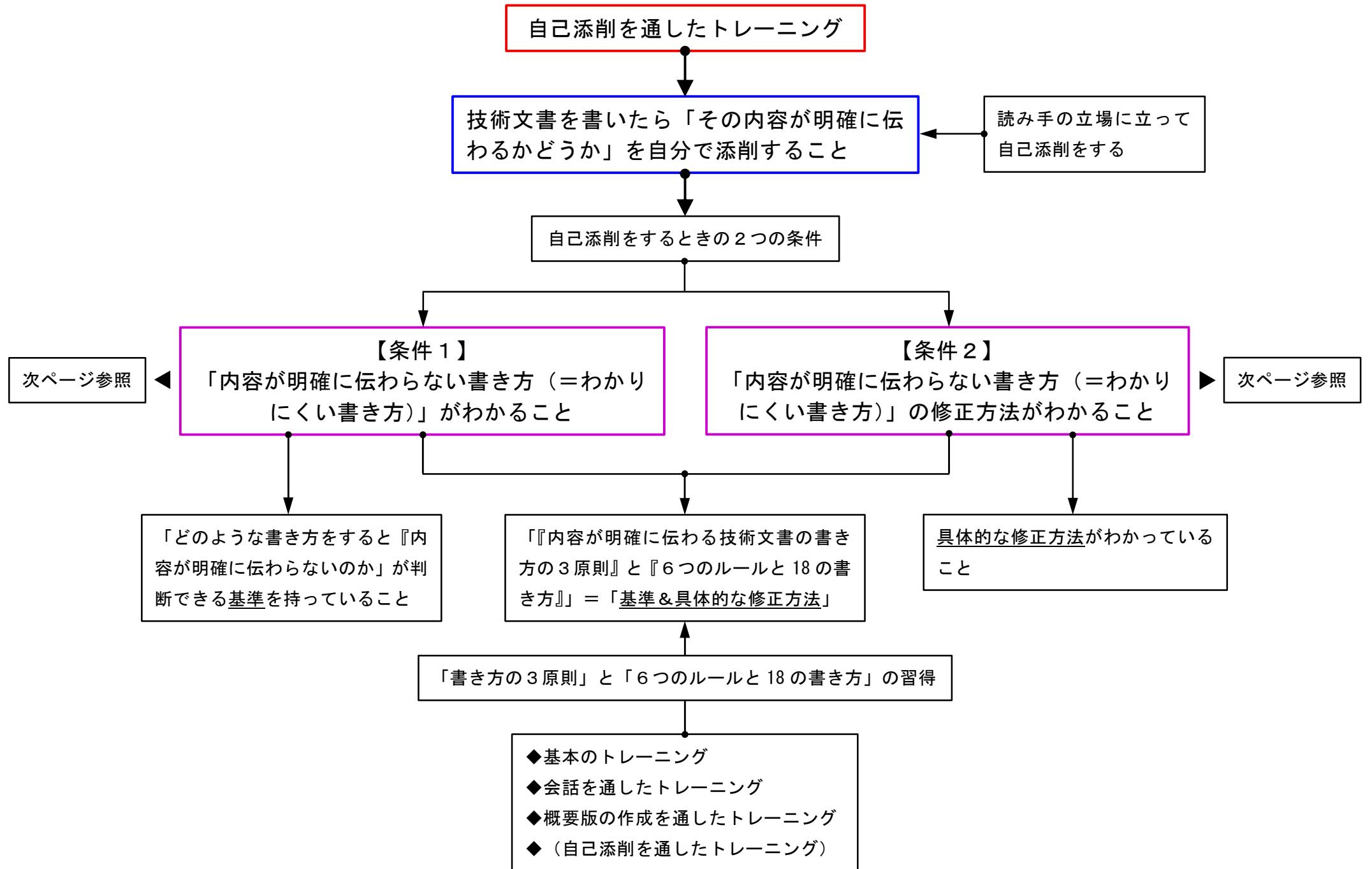
- ① 「内容が明確に伝わらない書き方（=わかりにくい書き方）」がわかること
- ② 「内容が明確に伝わらない書き方（=わかりにくい書き方）」の修正方法がわかること

「内容が明確に伝わる技術文書の書き方の3原則」と「6つのルールと18の書き方」を習得することでこれらの条件を満たすことができます。つまり、日々のオンザジョブトレーニングでの4つのトレーニングで「自己添削を通したトレーニング」の質がレベルアップします。

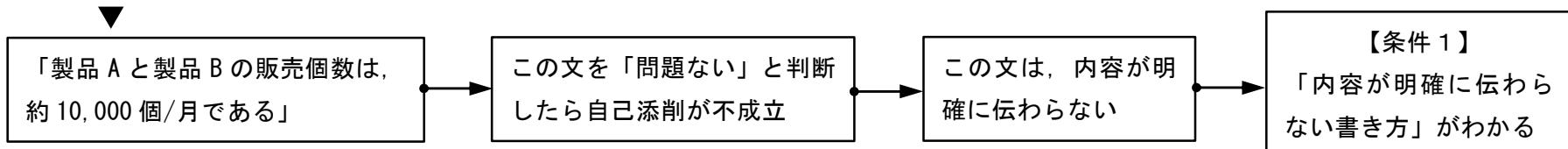
注1)：「マンガで学ぼう・ダウンロードコーナー」の中の「自己添削のポイント」の資料を参照のこと

注2)：「マンガで学ぼう・ダウンロードコーナー」の中の「日々のオンザジョブトレーニングでわかること」の資料を参照のこと

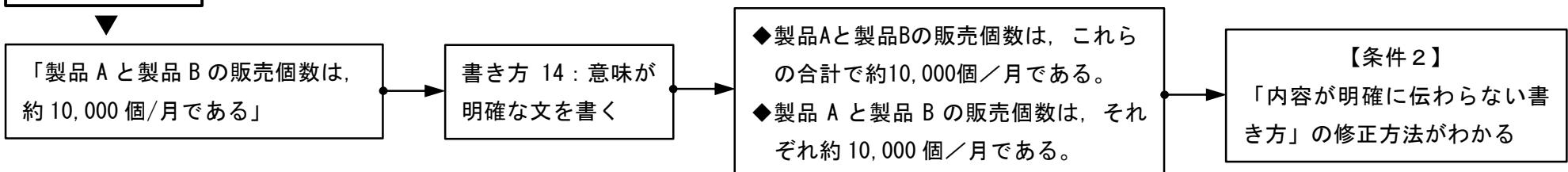
以 上



条件 1について



条件 2について



「『わかる』および『修正方法がわかる』」とは

【例え】

- ◆構成がない。
 - 「内容が明確に伝わる技術文書の書き方の3原則の中の第2原則：内容が明確に伝わる構成を考える」で修正しよう。
- ◆内容の要点が冒頭に書いてない。
 - 「書き方1：要点を冒頭に書く」で修正しよう。
- ◆根拠が書いてない。
 - 「書き方4：根拠を書く」で修正しよう。
- ◆文の羅列で書いてある。
 - 「書き方6：かたまりに分けて書く」で修正しよう。
- ◆具体的な文で書いてない。
 - 「書き方13：具体的な文を書く」で修正しよう。